

(別記)

令和6年度尾鷲市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

高齢化や担い手不足が深刻化し、離農や耕作放棄地の発生が懸念される。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

市内において農業者が高収益作物（トウガラシ）の生産に取り組んでおり、農地の集積・集約化など転換作物の生産性の向上など収益力強化に向けた取組を支援し、地域の重点作物として産地化を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

主食用米の需要の減少傾向が続くことが想定される中、農地の排水性の改善や集積等に計画的に取り組むためにも、地域における効率的な土地利用にも配慮しつつ、畑作物の本作化を進める。また、当市では、平坦な地区だけでなく、山間の地区に多数の休耕田が見受けられるが、水田の周辺には用水路が既に整備されている点と、水田の特徴である保水力を活かし、多品目の栽培も選択肢の一つとしつつ、様々な角度から利活用の方法を検討していきたい。水田の利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針については、夏頃に現地確認と合わせて聞き取りや説明等を行い畑地化支援に取り組んでいく。

4 作物ごとの取組方針等

市内の水田（6ha）について、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持拡大を図る。

（1）主食用米

米の生産数量の目安に沿った需要に応じた米の生産を行う。

（2）備蓄米

取組なし

（3）非主食用米

ア 飼料用米

取組なし

イ 米粉用米

取組なし

ウ 新市場開拓用米

取組なし

エ WCS用稲

取組なし

オ 加工用米
取組なし

(4) 麦、大豆、飼料作物
取組なし

(5) そば、なたね
取組なし

(6) 地力増進作物
取組なし

(7) 高収益作物

○野菜

市内の道の駅や近隣市町の直売所等で需要のある野菜を水田を活用して推進することで農業者の収益力向上につなげ、水田活用を図っていく。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	3.85		3.85		3.85	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦						
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	0.1737		0.08		0.1	
・野菜	0.1737		0.08		0.1	
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他						
・〇〇						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
				(5年度)	(8年度)
1	野菜	高収益作物助成 (野菜)	野菜作物面積	3a	10a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:三重県

協議会名:尾鷲市地域農業再生協議会

整理 番号	用途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	高収益作物助成(野菜)	1	10,000	野菜	出荷・販売すること

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。